



令和 6年 3月25日  
発行者 横浜市立篠原中学校  
校長 濱崎 利司

3月号

## 第51回卒業式 学校長お祝いのことば

去る12日火曜日に本校第51回卒業式が、生憎の雨の中でしたが学校運営協議会のご来賓をお迎えし、また多くの卒業生保護者の方々が参列して行われました。私が過去の卒業式において記憶にないくらいの大雨でしたが、卒業生は学校及び教職員と別れを惜しんでおりました。

さて、式中の学校長お祝いのことばの一部を掲載します。『…改めまして、卒業生の皆さん。卒業おめでとう！先程皆さん一人ひとり、207名に卒業証書を手渡すことができました。第1期生以来、数えて卒業生が11,207名となりました。今皆さんの手元にある卒業証書は、3年間の中学校課程と9年間の義務教育課程、修了のしるしです。そして世界にたった一枚しかない、皆さんの学びのあかしです。…卒業生の皆さんは、入学直後から分散登校、また、多くの行事が中止や縮小となったことが思い起こされるでしょう。しかしながら、皆さんは「出来ること・可能なこと」を考え・実行してきました。新型コロナ禍でも挫けず・怯まずチャレンジを続けました。…やれば出来る。でもやらなければ出来ない。それは皆さんが身を以て感じたはずです。篠中3年間での経験を4月からの高校生活、その後の学生・社会人生活、さらに続く人生において、自信として活躍することを願います。…心にあったかさをもつと相手に伝わります。あったかい心で、人に優しく。それは自分自身に還ってくるはずです。』

また、卒業生へご祝辞を頂戴したご来賓並びに祝電・お祝いメッセージを頂戴した小学校の先生方、本校を去られた先生方には、紙面を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

## ギニアとの交流

3月5日、国際交流の一環で、ギニア大使館をお招きし、交流しました。当日はギニア大使館の皆様以外にも、横浜市国際局やJOCA、地域広報誌の方々にもご来校頂きました。今回の交流会の内容や準備はすべて、2年社会科係が行ってくれました。2年生全員が事前に踊った「ソーラン節」や「エイサー」の映像を視聴したり、社会科の授業で作った日本とギニアのコラボキャラクターの発表や一等参事官の方と一緒に「けん玉リレー」を行い、ギニアとの交流を深めました。

一等参事官のベン・トラオレさんからは、「最初の歓迎がとてうれしかった」というお言葉や、横浜市の職員の方も、「他校でここまで生徒主体での交流会はなかった。生徒たちが素晴らしかった」とのお言葉を頂きました。今回の交流を通して外国に興味をもって、世界で活躍できる人になってほしいと思います。

〈生徒の感想〉※企画の中心となった4人です。

「準備はすごく時間がかかり大変だったが、実際にギニアの方々が来て、企画を楽しんでくれて嬉しかったし、いい経験になった。

「最初は意見がバラバラでどうなることかと思ったけど、一人ひとりが自分の仕事にまじめに取り組み、ギニアの人に喜んでもらうために一致団結できるようになった。

「直接会って会話をすることで、実際の様子が知れて良かった。

「想定外のことも多く、改善点もあったけど、楽しむことができた。」



2年社会科係のみなさん

## 交流会・お別れ遠足

2/14(水)に港北区個別支援学級お別れ交流会が日吉台西中学校で行われました。お別れ会では宿泊学習の振り返り動画を見たり、お礼の手紙を贈呈したりしました。1.2年生が手紙を渡す姿には、次は自分たちが先輩になって宿泊学習を成功させるんだ、という気持ちが伝わってきました。2/28(水)に行われた8組お別れ遠足では東京方面に行きました。東京タワーの展望台まで、600段を階段で登りきった生徒たちの目には達成感が満ち溢れていました。1年間同じ時を共にした、かけがえのない仲間たちとの遠足は最高の思い出になったと思います。



## ひまわり通信

生徒会本部役員よりのひまわり活動の報告です。

ひまわり活動は3月11日に東日本大震災で被害を被った大川小学校で生き延びたひまわりの種(震災の記憶)を後世に伝えるために行われている活動です。

今年度の活動として、5月にひまわりの種を校庭の花壇に植えました。その後、自主的に水やりをしてくれた人たちのおかげで、元気に花が咲きました。

去年の7月の評議会ではひまわりの水やりをどのような担当で水やりをするかを決めました。来年度に実行しようと思います。

その後、ひまわりの種を収穫し、この種を卒業記念品として卒業生に渡しました。

来年度も、引き続き活動を続けていきたいです。

